

HEART NEWS

2023年6月1日発行

Vol. 59

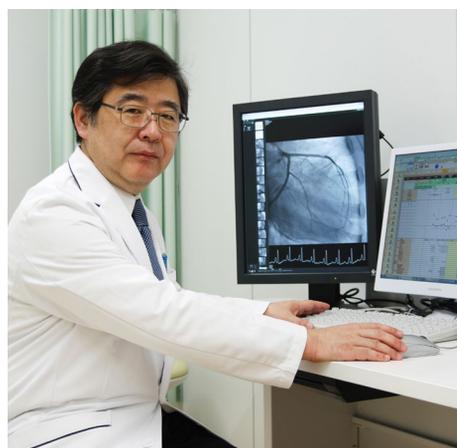
大阪市立総合医療センター循環器センター

<http://cardiovasc-ocgh.sakura.ne.jp>



新しい年度に入り最初のハートニュースの発行となりました。新型コロナウイルス感染症が5類となり、いよいよ循環器センターも含め病院全体が、通常診療にもどりつつあります。また循環器センターでは、心臓血管外科・村上貴志部長の3月に異動にともない、青山孝信先生が部長に昇進され、張り切っておられます。

循環器内科、心臓血管外科ともに新しいレジデント、専攻医も加わり、これまで以上に活気のある循環器センターとなりました。ハートラインを受け入れながら、これまで同様に最新に医療を地域医療機関の先生方にご紹介させて頂き、地域医療機関との連携強化に努めたいと思っております。
今年度もご支援よろしく申し上げます。



大阪市立総合医療センター
副院長

循環器センター長

循環器内科部長 成子 隆彦

循環器内科のご紹介

循環器内科は、今年度は以下の分野を重点的に取り組みたいと思います。

1. 弁膜症に対するカテーテル治療：大動脈弁狭窄症に対し、経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)を2016年4月から開始し、2023年3月で340例に到達しました。また僧帽弁閉鎖不全症に対しての経皮的僧帽弁クリップ術(Mitral Clip)を2022年7月開始し、20例を行っています。本年度から、近年増加している透析患者の大動脈弁狭窄症に対するTAVI治療の開始を予定です。
2. FFR-CTの導入：FFR-CTとは、これまで心筋虚血の診断のために心臓カテーテル検査で行っていた冠血流予備量比 (FFR: Fractional Flow Reserve) を事前に施行した冠動脈CTのデータを基に数値流体力学解析を行うことにより、心臓カテーテル検査を施行せずCTでFFR値を算出し診断ができる検査であり、本年度から開始しています。
3. 末梢動脈疾患の包括的治療：末梢動脈疾患、特に重症下肢虚血は糖尿病や透析患者に多く、今後、疾患の増加が予想されます。当院の総合病院としての機能を生かし糖尿病内科、腎臓高血圧内科、総合診療科、皮膚科、形成外科、整形外科と連携し下肢救済センターの設置に向けて準備を行っていきたいと思います。
4. 不整脈治療：2008年開始しましたアブレーション治療は、持続性心房細動に対する冷凍凝固アブレーションの適応追加に伴い、初回治療における冷凍アブレーションの割合が56%と半数以上となりました。デバイス治療については、ペースメーカ植込み後の患者様の心機能低下を減らすべく、2019年より刺激伝導系ペーシング（左脚領域ペーシング）を行っております。さらに本年から導入予定のエキシマレーザシステムを用いたペースメーカのリード抜去も開始予定しています。
5. 心不全パスの充実：超高齢化に伴い、近年増加している心不全患者の再入院を減らすことを目的として定期的に開催しています「大阪心不全地域医療連携の会」を通じて、心不全患者の管理と、医療機関から地域全体切れ目のない治療体制を本年度も発展させて行きたいと思います。



副部長
阿部 幸雄



副部長
松村 嘉起



副部長
松本 亮



副部長
占野 賢司



医長
仲川 将志



医長
齋藤 聡男



医長
林 雄介



レジデント
加島 裕美



レジデント
松本 直己



レジデント
吉井 大智



専攻医
岡田 卓也



専攻医
方城 華奈



専攻医
松田 匡雄



専攻医
辻 葵



専攻医
奥田 豊生



専攻医
島田 真武

循環器内科外来担当医のご案内

	月	火	水	木	金
午前	阿部	松村	占野	仲川	成子
			松本直己 (ペースメーカ)		
午後	阿部	松村			成子
	占野 (ペースメーカ)				林

地域初診外来

	月	火	水	木	金
午前	成子	齋藤	阿部	成子	松本 亮
					林 (不整脈)
午後		齋藤 (末梢動脈)	占野 (不整脈)	仲川 (肥大型心筋症)	松本 亮 (TAVI)
				加島/吉井 (肺高血圧)	

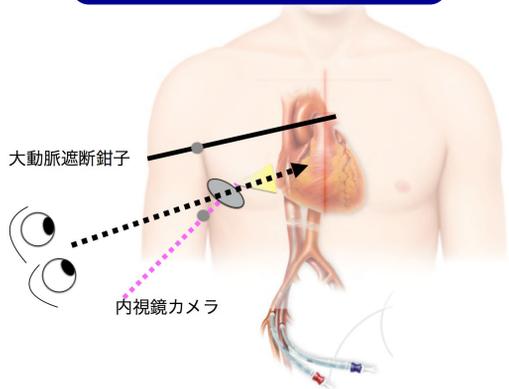
心臓血管外科のご紹介

2023年4月から前任の退職に伴い副部長であった青山が部長となりました。また、尾藤が副部長に、岸本が医長となり、専攻医として三浦が赴任致しました。新体制となりますが、今までの基本方針を踏襲しつつ、さらなる飛躍を目指します。宜しくお願い致します。

2020年から続くコロナパンデミックの中、大阪市の中核病院としてコロナ診療を行いながらも、先進的な医療の推進を続けてきました。新型コロナウイルス感染症が主に5類感染症へ移行となり、当院の診療体制もコロナパンデミック前に戻りつつあります。当科も多くの患者様に安全を第一に低侵襲手術を含む最良の手術を提供し、早期に社会復帰をして頂くことを目指すと共に、24時間体制で急性大動脈解離や大動脈瘤破裂に対する緊急手術の受け入れも行っていきます。

- 1) 小切開から内視鏡補助下に弁膜症手術や冠動脈バイパス術を行う**低侵襲心臓手術** (Minimally Invasive Cardiac Surgery: **MICS**) を行っています。
- 2) **大動脈弁狭窄症**に対する**経カテーテル的大動脈弁植え込み術 (TAVI)** を循環器内科と協力して行っています。
- 3) 胸部・腹部大動脈瘤や大動脈解離に対するカテーテル治療 (**ステントグラフト内挿術**) を行っています。
- 4) **下肢静脈瘤**に対してレーザー治療を行っていましたが、2023年1月から、さらに侵襲が少ないとされる医療用接着剤を用いる**血管内塞栓術 (グルー療法)** を導入しました。

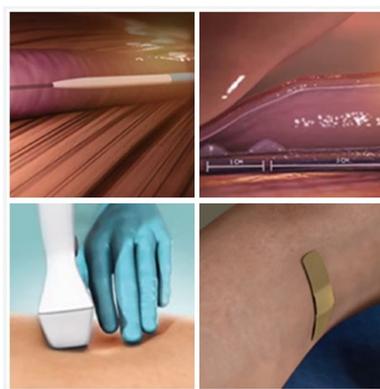
低侵襲心臓手術 (MICS)



ステントグラフト内挿術



下肢静脈瘤 血管内塞栓術



部長
青山 孝信



副部長
阪口 正則



副部長
尾藤 康行



医長
岸本 憲明



レジデント
角谷 明洋



専攻医
三浦 拓也

心臓血管外科外来担当医のご案内

	月	火	水	木	金
午前	青山	岸本	阪口	交代制	尾藤
午後	青山	岸本	阪口	交代制	尾藤

今号の循環器日記

我々循環器センターでは、臨床・教育・研究のいずれもが欠けることのないように力を入れております。国内学会をはじめ国際学会でも発表を行ったり、教育プログラムの運営を行ったりしています。4月21-23日には、岐阜で開催された日本心エコー図学会第34回学術集会に参加してきました。岐阜大学大倉宏之教授が大会長をお務めになり、ホスピタリティと工夫にあふれた素晴らしい会となりました。実は「日本心エコー図学会教育功績賞」を私がいただくことになり、その授賞式が会期中に行われました。大変名誉なことであり心から感謝しております。教育というのはコミュニケーションだと思っています。影響を与え合い変化し合っていくのがコミュニケーションです。わずかずつでも良い影響を与え合っていくことが、なかなか良くならないこの世の中が変わっていくことに繋がるのだと信じ、これからも教え、教えられたいと思っています。

循環器内科 阿部幸雄



教育功績賞

阿部幸雄殿

貴殿は心エコー図学の重要性を認識し臨床に応用するだけでなく本法を研究にまで高めさらには臨床・研究を通じて多くの若手医師・技師を教育・啓発されましたここに深謝の意を表しさらなる発展・貢献を期して表彰いたします

令和5年4月22日

一般社団法人日本心エコー図学会
理事長 山本 一博

当院循環器内科、心臓血管外科は近隣の先生方からの循環器救急疾患をさらに迅速に受けられるようにするため、循環器センター直通電話（ハートライン）を設置しております。

ハートライン（循環器センター直通電話）

06-7662-7979

その他の場合は、御面倒ですが、

06-6929-1221（病院代表）から呼び出して下さい。